

1 学校教育目標

県教育委員会関係各課の「平成 29 年度教育指導の重点や取組の方向」及び本校の校訓「創造」「礼節」「勤労」のもと、励まし合い・認め合い・個性を高め合う教育をとおして、誠実に自立した人間（産業人）の育成を目指す。

2 本年度の重点目標

- (1) 学力の向上と教科指導の充実
アクティブラーニングの推進、習熟度別授業の効果的な実践
教科指導方法の工夫・改善
- (2) 生徒指導の充実
健全な心身の育成、段階的指導の有効活用、いじめの発生しない環境づくり
生徒支援の充実
- (3) キャリア教育の充実
望ましい勤労観・職業観の育成、将来への目的意識の確立、個に応じた進路指導
- (4) 地域連携
地域に開かれた学校づくり、コミュニティ・スクールの機能の確立
ボランティア活動の推進、小中学校との交流、積極的な広報活動
菊池支援学校高等部山鹿分教室との交流
- (5) 人権教育、道徳教育、主権者教育の充実
すべての教育活動において実践

3 自己評価総括表						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	育友会活動の充実	文書回収率	回収率、平均80%	安心安全メール活用で保護者参加率の増加	B	回収物によってばらつきはあるが、概ね80%程度の回収はできている。今後も担任と連携して、回収率の向上に繋げたい。
		安心安全メール加入率	85%以上加入		A	生徒数に対する加入率は100%を越える値で、夫婦で登録されている家庭もある。今後も、全家庭に登録を促していく。
	入学者確保に向けた取組の充実	中学校への訪問回数	担当中学校への3回以上の訪問	山鹿・菊池・玉名・北区の中学校へ担当者が訪問し、積極的に情報発信	B	学校説明会や学校案内の持参等、平均3回程度の訪問を実現できた。場合によっては、入学式への参加や運動会への参加も行った中学校もある。さらに今年度は、中学校で実施される高校説明会に在学する1年生の出欠状況や資格取得状況の報告等の情報発信も行った。これらのことを入学希望者の増加へと結び付けたい。
		商工フェスタの充実	来場者数の1200人(昨年度1200人)	店舗販売、体験コーナーを強化し、広報活動を積極的に行う。	B	雨天のため来場者数の把握が十分ではなかったが、1200名近くは来場していただいた。小学生の体験コーナーはどのブースも盛況であった。
		体験入学の参加者数	参加者数170人以上(昨年度160人)	内容を充実させ、各中学校へ積極的な参加を呼び掛ける。	B	参加者数は154人程度で予定数より若干少なかった。アンケート調査では進路を考える上で参考になったと回答した中学生が82%、体験学習はわかりやすかったと回答した中学生が75%であった。このことにより、十分に進路情報を提供できたと捉える。
学力向上	基礎学力の向上	基礎学力診断テストの実施	12月実施の基礎学力診断テストにおいて、2学年の成績下位層の理解度D・Eの割合を20%以下	チャレンジタイムによる学び直しの充実 習熟度別指導の充実	B	基礎学力確認テストにおいて、成績下位層D・Eランクの生徒は、前年度の1年生が36%、2年生が12%であった。これに対し本年度は1年生が24%、2年生が24%であった。このことから現2年生は、成績下位層が36%から24%に改善された。これは、チャレンジタイムによる学び直しや習熟度別学習指導等の継続した取組の成果であると考えられる。しかし、目標の20%以下は達成できなかった。
	授業改善	アクティブラーニングの実践	能動型学習を取り入れた研究授業を各教科で実施	アクティブラーニングで生徒の主体的な学習態度を育む	B	夏季休業中には、教育センターより指導主事を招聘して研修を行った。その上で10月と11月に研究授業を実施し、生徒の主体的な学習態度を育むことへと繋げた。特別な取組としてのアクティブラーニングではなく、普段の取り組みとしていかに推進して行くかが今後の課題と捉える。

評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
キャリア教育（進路指導）	目的意識の確立	志望の状況	1年生：7割の生徒が就職か進学かの進路希望を決定 2年生：8割が進路目標設定	進路希望のこまめな実施	B	1年生の目標は、なかなか達成できない。2年生は、就職・進学の希望ははっきりしてきたが、具体的な企業名、学校名を挙げることができるのは、全体の半分くらいである。
		生徒の進路意識高揚	学校紹介就職：100% 進学決定：100%	ライフプランニング講座 企業と生徒の交流会 進学ガイダンス	B	社会の景気が上向いていることから、学校紹介就職は全員が内定した。就職内定者では、県内企業の割合が高まった。進学希望については、全員が学校を決めることができた。全体として、順調だった。
生徒指導	基本的な生活習慣確立と規範意識の醸成	教頭指導数の減少	0人（昨年度19人）	段階的指導を用いた徹底した指導	B	教頭指導数が2名（2年生1名、3年生1名）と目標を下回ったが、全体的には落ち着いた学校生活を送っている。指導票の内訳は課題未提出や指導無視、頭髪検査不合格などが大半を占めている。指導票の撤廃に向けて、生徒達へ意識の向上を指導してきたが、撤廃についてはもう少し検討していく必要がある。
	交通安全教育の徹底	交通違反・事故件数	0件（昨年度交通違反3件・事故件数16件）	街頭補導や交通安全教育の充実	B	特にバイク通学生の安全教育に力を入れてきた。事故5件、違反1件が発生したが、昨年よりも事故件数を減らすことができた。一方で、新規バイク通学希望生徒の免許取得に対する準備不足や初動の悪さから、免許を取得することができない生徒が非常に目立ってきている現状がある。実際交通社会に出てから、状況判断の悪さからまねく重大事故が懸念されるので、更なる指導が必要である。
	情報モラル教育の推進	ネットでの誹謗中傷事案の減少	0件（昨年度2件）	集会やLHRでの啓発活動の実施	B	SNSの不適切な利用は、把握できたものに関してはその都度個人的指導を行い、集会時に全体でも指摘し注意喚起したが、不適切な利用は減らなかった。また、そのことが原因で不登校やいじめに発展するケースも出てきており、家庭でのルール作りも進んでいない現状がある。
	生徒会活動の充実	ボランティア活動に参加した生徒の数	年間80人以上（昨年度74人）	生徒会を中心とした取組を部活動単位等と呼び掛ける	B	様々な学校行事を通じて地域社会に活気ある学校をアピールすることができた。ボランティアへの参加者は総勢70名であった。1月には、1学年全員が山鹿市防災のつどいに参加し、ボランティア意識の向上を図った。
	主権者教育の充実	意識の高揚、選挙違反者数	全ての生徒が選挙に行くという意識を持つ。 選挙運動違反者0件	外部関係機関と連携した講演会等の啓発活動	A	今年度は、熊本県弁護士会に講演をお願いした。投票の意義を、私たちの生活と関連させながらわかりやすくお話していただいた。

評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
人権教育	人権教育講演会の充実	人権教育講演会のアンケート実施（対生徒）	4段階評価において評価満足度3.5以上を目指す。	生徒目線での講師や内容の選定	B	創立50周年記念講演会を人権教育講演会と兼ねて実施し、KKTアナウンサー本橋馨様に講演いただいた。アンケートによる評価はできなかったが、生徒からは参考になった、元気をもらった等の声が多く聞かれた。
	命を大切にす る心を育む指 導	講演会の実施 関連教科におい て命の大切さを 考えさせる	講演会を3回以 上実施 年間を通して命 について考えさ せる授業を展開	関係部署が立案 し講演会を実施 する。 関連教科で指導 内容を洗い出 す。	A	性教育講演会、薬物乱用防止講演会、情報モラル講演会を実施した。また、家庭科での赤ちゃん交流の実施など年間を通して命の大切さを考えることができた。
特別 支援 教育	困り感のある 生徒への組織 的支援体制の 醸成及び強化	特別支援教育の 推進	講演会等を年2 回以上実施	SSW、SCや外部 講師による職員 研修実施	B	夏休みに外部講師による職員研修を実施した。高校生の攻撃的言動への対処法について「インシデント・プロセス法」を取り入れた事例検討会を行った。グループワーク型の研修で職員には好評であった。本年度は1回しか実施できなかったため、次年度は機会を増やしたい。
		困り感のある 生徒の発見、職 員の連携と SSW、SCへのつ なぎ	学期毎に校内員 会の実施 毎週1回SSWと の会議 月1回SCとの会 議の実施	ケース会議や校 内委員会の実施 及び支援室会議 の実施	B	毎週1回相談室にて会議を実施。SSWに同席して頂き、学校⇄SSW双方向の情報交換を行っている。会議であがった生徒については継続的に情報を収集し、担任や学年と連携して支援方法について検討している。また、7月に実施した「こころの問診票」をもとに、担任とSCとの面談を行った。担任とSCが情報共有することで、2学期以降の面談回数が増加した。
		支援策の情報共 有と職員への周 知	生徒情報収集 支援計画の作成	中学校訪問、二 者面談等により 生徒の状況を把 握し、当該生徒 の支援計画を作 成	B	中学校訪問、新入生面談により継続支援が必要な生徒・保護者とSSW、職員が面談を実施した。夏休み中に各担任に支援計画の作成を依頼し、100%実施できた。しかし、活用ができていないので、全職員への周知、徹底を含め次年度以降の課題である。

評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
いじめの防止等	いじめのない学校づくり	いじめの早期発見、早期対応の取組	次回アンケートで、「いじめが継続している」0件を目指す。	いじめの防止のため、年間5回アンケートを実施	B	5回のアンケートで、いじめが継続していると回答した生徒は1人であった。いじめがあるとアンケート等で答えた生徒に対しては、個別に対応して現状の確認を行い、その都度解決を図った。
				「いじめの早期発見・早期対応マニュアル」に沿って対応	B	マニュアルに沿い、年3回有識者を招いてアンケートの結果を基に慎重な会議を開き、未然防止に重点を置いて取り組んだ。幸い重大事案は発生していないが、いじめを受けたという生徒が8名おり、いざというときのためのシミュレーションを職員研修等で取り上げた。
地域連携（コミュニティ・スクールなど）	地域連携の充実	「かざぐるま」の活動	地域のイベントを中心に来店活動（地域イベントへ10件出店）	地元イベントとの連携の中で地域の人達との交流を盛んにする。	A	地域からのイベント案内が多数あり、生徒・職員とも積極的に参加してきた。生徒が地域貢献する場をいただき、地元との信頼関係も深まった。
		技術ボランティア実施回数	地域を拡大して、年間20件以上実施（昨年度14件）	近隣（七城・植木）地区への広報開始	B	昨年と比べ実施件数は減ったものの（校外外から10件）、小中学校のテニスボールの加工や個人のオーディオの修理などを丁寧に対応できた。今後も継続して実施に努めたい。外部からの依頼は口コミが中心で、積極的な広報は行えなかった。
	コミュニティ・スクールの機能の確立	学校運営協議会の活動	防災教育の充実や地域連携に繋がる意見を毎回出してもらう。	学校運営協議会委員との連携を強め、学校運営協議会を年5回実施する。	B	山鹿市内の県立高校と合同で学校運営協議会を4回実施した。地域代表、行政、消防、警察、近隣小中学校、保護者代表と防災に関する協議することをおして、地域との繋がりを深める契機となった。また、防災教育の体系化や防災マニュアルの見直しをすることができた。
		地域と連携した取組の実施	合同防災訓練を近隣の小中高等学校や地域住民と協力して実施する。	学校運営協議会等をおして共通理解を図る。	C	1年生全員を地元で開催された「防災のつどい」に参加させることで、地域住民と交流を持つことができた。合同防災訓練の実施に至らず、学校単独の防災訓練にとどまった。地域と連携した防災訓練をどのように展開するのか、今後の課題として残った。

4 学校関係者評価

(1) 評価された点

- ・地域と連携した取組が行われており評価できる。他にも協力をお願いできるところがあると思う。後輩にも引き継いで欲しい。
- ・地元への就職が増えているという報告があり、うれしいことだと思った。地元に残って頑張るといふ生徒をさらに育てて欲しい。
- ・高校生がボランティアに積極的に参加しており、地域からも評価されている。

(2) 課題として指摘された点

- ・コミュニティ・スクールが今後どのように進んでいくのか。地域の方々をどのように巻き込んでいくのが課題であるとする。実際に取り組んでみることで課題が見えてくる。
- ・生徒たちの頑張りを積極的にアピールすることが必要である。新聞に掲載されるような取組を進めて欲しい。
- ・本年度は出席率が向上しクラスによっては出席率100%のところもあるとのことだが、生徒の実態を見ながら度を超えないようにすることも必要である

5 総合評価

(1) 本年度の学校教育目標

学校評価アンケートから、本校で充実した学校生活を送っていると答えた生徒が82%、子どもが充実した学校生活を送っていると感じている保護者が91%、鹿本商工高校に入学してよかったという生徒が76%、入学させてよかったという保護者93%等の結果が出ている。本校における教育活動が生徒や保護者から一定の評価を得ており、「誠実で自立した人間（産業人）の育成」に繋がっていると考える。課題も残されているが、全体としては概ね本年度の学校教育目標を達成することができた。

(2) 本年度の重点目標

- ア 鹿本商工版アクティブラーニングを取り入れた授業づくりを意識し、生徒の学力向上に繋げるために研究授業を実施した。学校評価アンケートの結果では、わかる授業・興味関心を持てる授業が行われていると考える職員は92%であるが、生徒は80%であった。今後も、弛まない取組が必要である。
- イ 生徒指導の充実を図るために、段階的指導や登校指導等に取り組み、これらについては生徒や保護者からもしっかり行われているとの評価であった。いじめの防止及び早期発見を目的にアンケート調査を定期的に行った。特別な支援の必要な生徒もいて、担任が中心となり、生徒支援担当と連携しながら指導に当たった。昨年度より問題事案や進路変更をする生徒が少なく、落ち着いた生活をおくっている。
- ウ 学校紹介で就職を希望した生徒全員が内定し、地元銀行へ就職する生徒も出た。進学では、熊本県立大学や県立技術短期大学校への合格者が出た。地道な指導が良い結果に繋がった。
- エ 地域との連携を図るために、地域イベントへの出店や各種ボランティアに取り組み、一定の成果を上げることができた。菊池支援学校高等部山鹿分教室との連携も、体育大会、商工フェスタ、交流授業等を例年通りに行うことができた。

(3) 自己評価総括表

- ア 生徒数に対する安心安全メールの加入率は、100%を超えている。未加入の家庭もある一方で、夫婦で登録されている家庭もある。行事等の定期的な連絡に加えて、緊急の連絡も可能な環境が整いつつある。今後も加入への協力をお願いしていく。
- イ 入学者確保に向けて、中学校への訪問、商工フェスタの充実、体験入学等に取り組んだ。ほぼ目標どおりの取り組みを行えたが、前期（特色）選抜の志願者数を見ると、前年度より20名ほど少ない志願状況であった。
- ウ 基礎学力の向上を目指し、学び直しの時間の設定や習熟度別授業に取り組んだ。基礎学力確認テストの結果によると、2学年の成績下位層の割合が減少する等の成果が現れた。基礎学力の身につけていない生徒入学してくる実状があり、丁寧な指導が不可欠である。
- エ 生徒指導に関する項目が昨年度より高い評価となった。生徒指導案件や交通事故違反が昨年より少なく、学校全体として落ち着いた状況であった。しかし、SNSのトラブルやいじめも発生しており、継続的な指導が必要である。
- オ 防災型コミュニティ・スクールの指定を受け、山鹿市内の高校と連携して学校運営協議会を実施した。地域住民代表、地元小中学校、行政、消防、警察との繋がりを持つことができた。今後どのように進んでいくのが課題である。

6 次年度への課題・改善方策

(1) 生徒確保に向けた取組

前期（特色）選抜の志願者数が昨年度より少ない結果となった。これまでの取組の見直しや工夫改善を図り、学校の魅力を中学校や地域に伝えていく必要がある。

(2) コミュニティ・スクールの推進

本年度は初年度であり、手探りの状況であった。地域と顔の見える関係づくりには繋がったが、具体的な事柄にまでは踏み込めなかった。今後、合同避難訓練の実施や避難所指定に向けた行政との連携などを具体的に検討して必要がある。また、他地域での取組等の情報収集も必要である。

(3) 授業改善

授業の改善を目指して取り組んでいるが、学校評価のアンケート結果では生徒と職員に認識の差がある。授業評価アンケート等の結果も活用しながら、授業改善への取組を学校全体で進める必要がある。研究授業の充実や研修会への積極的な参加を促していく。

(4) 特別な配慮を要する生徒への対応

これまでの指導方法では対応しきれない生徒がいる実状がある。中学校の時に特別支援学級に在籍していた生徒も入学してきている。情報を共有し、担任や教科担当が連携し、より良い指導の在り方を確認していく体制を整える。支援計画の作成はできているので、その有効活用を図る取組を進める。

(5) 技術ボランティア

これまで長年取り組んできているが、ボランティアの依頼に対して、職員が対応する場面が多くなっている。地域連携の充実を目指す取組であるが、校内のボランティアが半数を占めている。生徒が学んだ知識や技術を地域に生かす還元する場をとらえ、高齢者施設や子育て支援施設、小学校等に焦点を絞ったり、「できること一覧」を作成し、施設等に配付したりすることを検討する。

平成29年度学校評価アンケート結果考察

1 はじめに

平成29年度学校評価アンケートは、生徒、保護者及び職員に対して実施した。回答数は、生徒349人、保護者320人（346世帯）、職員53人で、回収率平均95.6%であった。延べ45項目についての質問事項の内容は、学校全般について6項目、教務関係事項8項目、進路関係事項5項目、生徒指導関係事項11項目、総務関係事項5項目、保健体育関係事項6項目、専門教育関係事項4項目となっている。各対象別の質問項目は、生徒対象で37項目、保護者対象で33項目及び意見記述欄、職員対象で40項目を設定した。評価については4段階評価を用いている。評価4を良くあてはまる、評価3がややあてはまる、評価2があまりあてはまらない、評価1が全くあてはまらない、として評価平均が4に近いほど評価が高い設定とした。

2 結果分析

(1) 生徒評価について

最高値を示した項目は評価平均 3.49 のあいさつや服装などの身だしなみ指導に関する項目であった。実習時の安全教育、実習室の整理整頓及び環境整備に関する項目の評価も高く、評価平均 3.48 であった。また施設の安全管理や芸術鑑賞の評価(4.50)も高かった。

評価が最も低い項目は、昨年度に引き続き、家庭学習の指導に関する項目で評価平均 2.88 (昨年度 3.02) であった。前年よりさらに低い評価となった。授業のわかりやすさに関する項目は評価平均 2.98 (昨年度 3.18) で、0.20 の低下であった。授業改善等に取り組んでいるが課題が残った。

過去5年間の平均より伸びた項目は、課題や宿題の提出に関する項目で0.23 上昇した。全体として過去5年間の平均より (3.19) より高い評価平均 (3.26) となった。

(2) 保護者評価について

最高評価を得たのは、あいさつや服装などの身だしなみ指導についてで、評価平均 3.54 であった。評価が高かった項目は、美化活動に関する項目 3.48、入学してさせてよかった 3.43、学校徴収金の明確化 3.43 であった。

評価が最も低い項目は、生徒評価と同じく家庭学習に対する指導で評価平均は 2.83 であった。中退・不登校に対する指導に関する項目も 3.08 で低い評価であった。

(3) 職員評価について

最高評価を得たのは、生徒及び保護者への広報に関する評価、評価平均 3.70 であった。評価が高かった項目は、あいさつや服装などの身だしなみ指導 3.62、実習時の安全教育 3.47、人権を尊重した言動に心がける 3.46、芸術鑑賞 3.44 であった。

評価が最も低い項目は、生徒・保護者評価と同じく家庭学習に対する指導で評価平均は 2.62 であった。また、校務改革の項目が 2.82 で、昨年同様低い評価であった。

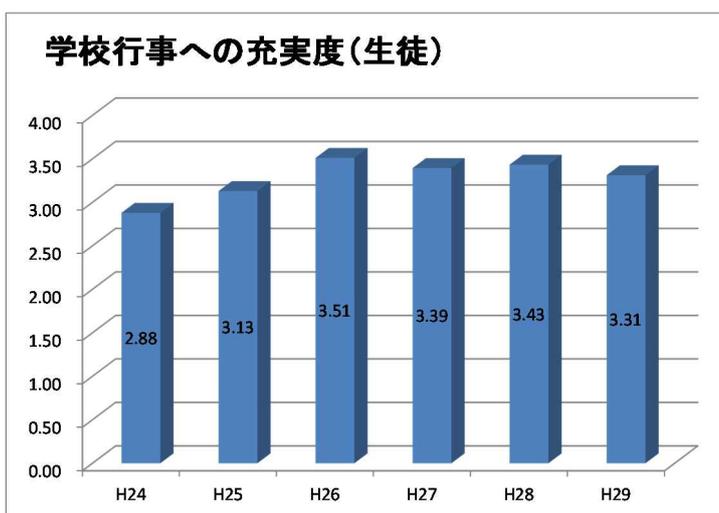
(4) 過年度比較について

過年度比較については、過去5年間の評価平均と本年度の評価平均の差を標準偏差(生徒 0.15、保護者 0.13、職員 0.20) から、0.2 以上と以下で比較検討した。【標準偏差の値で偏差値の 10 を表わす】

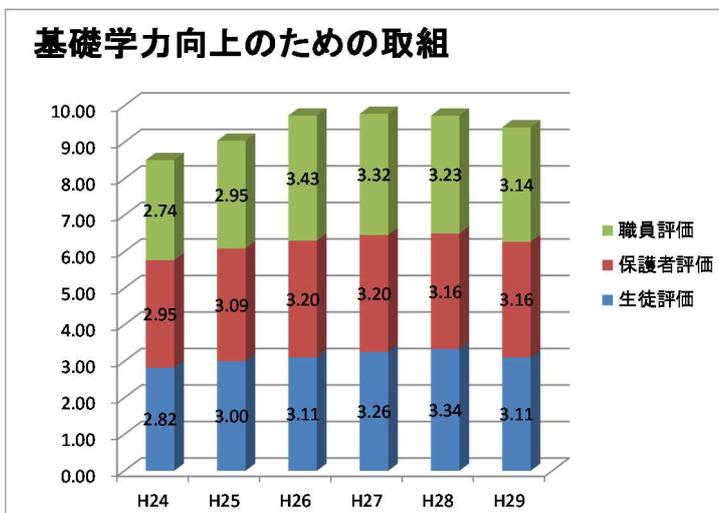
生徒評価については、37項目中32項目が上昇し、5項目が低下した。0.2 以上の上昇はなかった。保護者評価については、6項目が現状維持またはわずかな低下であったが、33項目中27項目が上昇という結果を得た。職員評価では40項目中16項目が上昇したが、24項目で低下し、全体として低下が目立った。

以下についてはいくつかの特徴的なものを上げて分析する。

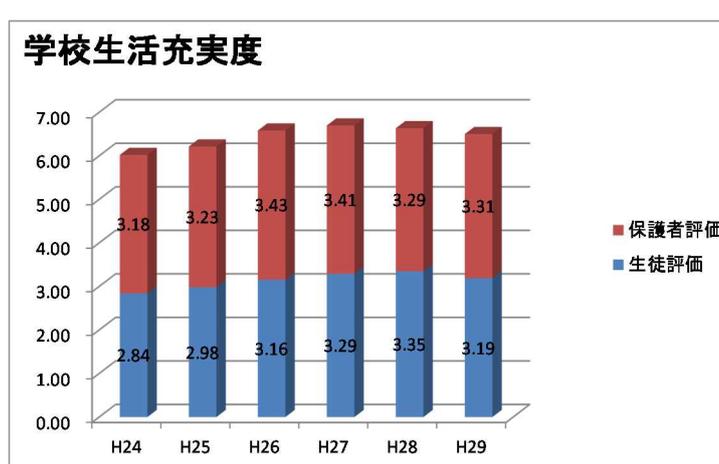
(4) - 1 学校全般質問項目の中で、生徒対象に行った「学校行事である商工フェスタや体育祭は楽しく充実している」に回答した生徒は、回答者の評価平均が 3.31。過去3年間の数値には及ばなかったものの、高い評価を得ている。魅力ある学校行事の創造に励みになる数値である。



(4) - 2 本校では授業改革と同時に、基礎学力の向上にも取り組んでいる。グラフのとおり、総合的に評価は高い水準であるが、職員の評価及び生徒の評価は低下している。特に生徒の評価は 0.23 の低下であり、生徒が実感できる取り組みの充実が必要である。

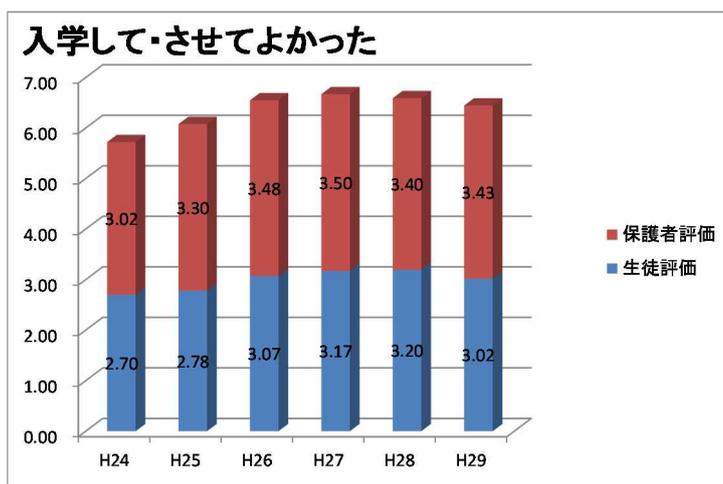


(4) - 3 生徒・保護者を対象にした質問項目「本校で充実した生活を送っている」については、保護者の評価はわずかに上昇したものの、年々上昇していた生徒の評価平均が、本年度は前年より 0.16 低下した。全体としては高い評価を維持しているが、生徒が学校生活を積極的に送るよう、今後も努力する必要がある。



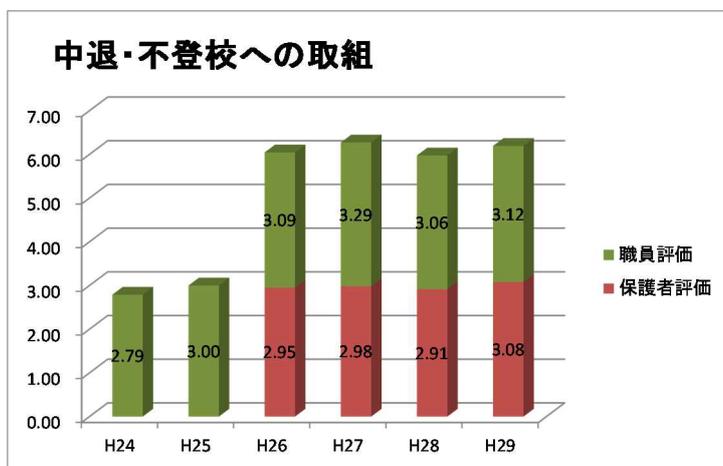
(4) - 4

生徒・保護者を対象に質問した項目で、着実に評価平均が上がってきていたが、昨年度からわずかに低下している。本年度は保護者の評価が上昇したものの、生徒の評価の低下が大きかった。保護者の評価は高い水準であり、さらに連携を深めながら、指導に当たる必要があると考える。



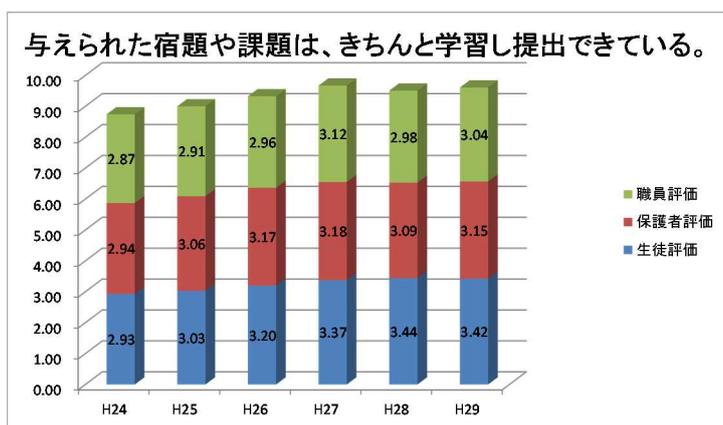
(4) - 5

昨年度まで毎年2ケタの数の生徒が進路変更している。昨年度は13名であった。本年度は11月末現在いで3名であるが、今後増えることも予想される。外部専門機関であるSSWやSCの活用は、職員に対して広がっている様である。職員と保護者の評価平均が昨年度より共に上昇しており、取組の成果が現れつつあると考える。



(4) - 6

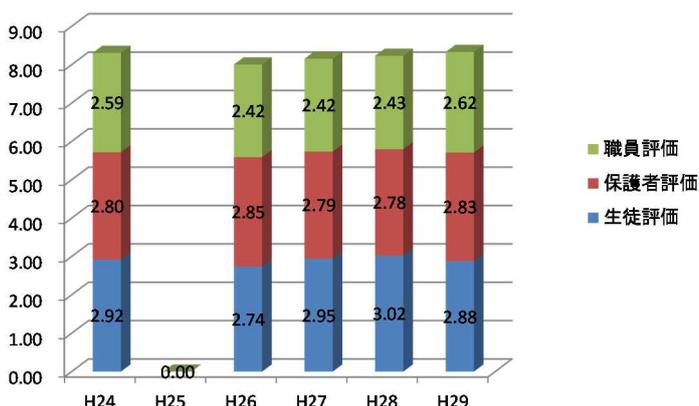
学習課題に対する生徒の感覚は上昇傾向にある数値である。職員と保護者は前年度より上昇しているが、生徒はわずかに低下した。生徒と職員・保護者の認識に差がある項目である。宿題や課題が提出できない生徒もいるので、生徒の実態を考慮しながらの指導を進めていく必要がある。



(4) — 7

例年、評価項目の中でも低い評価で推移している項目である。本年度も評価平均が最も低い評価項目であった。本年度は、生徒の評価は低下したが、職員・保護者の認識は上がっている。前項目同様、生徒の現状を把握したうえでの対応が求められる項目である。

家庭学習への取組



3 保護者意見欄から

- 服装検査に時間をかけすぎ。生徒指導の面が厳しすぎるところがある。
 - 理由があるのにアルバイトの許可がおりない。
 - 資格の取れる環境と指導が充実していればと思った。
 - 楽しそうに見えない
 - 生徒、親を納得させる行動や言動がなかった
 - 部活動のおわりの時間がはっきりせず、帰りが遅くて心配した。
 - 行事予定は早めの連絡をお願いしたい。
 - 体育大会の折にトイレを使ったが汚かった。
 - 進路について生徒のやりたいことを無理だと否定された。
 - 学校の評価ばかりを気にしているように感じる。
 - 目標に向かって真面目に頑張っているので入学させて良かったと思う。
 - 友人関係は良好であった。
 - 挨拶面は最高で、人間として大切なことが良くできている。学校に感謝したい。
 - 良い学校になってきていると思う。知り合いからも「商工ならよかったね」といわれることも多くなっている。
- ※謙虚に受け止め課題としたい。

4 結果考察

(1) 全項目での評価平均

生徒は、平成24年度以降上昇を続けていたが本年度下降した。全体的に昨年度より低めの評価であった。

保護者は平成26年度をピークに下降していたが、本年度上昇した。連携の強化や情報発信のあり方の見直しなどに取り組み向上を図りたい。

職員は昨年度と変化はなかった。現状維持に満足せず更なる取組が必要である。

(全項目評価平均の推移)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
生徒	2.96	3.14	3.17	3.30	3.36	3.26
保護者	3.07	3.18	3.26	3.24	3.22	3.24
職員	3.10	3.22	3.28	3.33	3.30	3.30

(2) 学校生活全般の満足度

生徒は年々評価が上がっているが、生徒は前年度より低めの評価となった。保護者は前年度より評価が上がっている。生徒の満足度が上がれば、保護者の満足度も上がることに繋がる。生徒に充実した学校生活を送らせ、保護者にも理解してもらえらる指導を展開することが求められる。

(3) ホームページやメールによる広報

3者とも評価が昨年度より低いが高い水準である。ホームページの頻繁な更新やメールによる積極的な情報提供が、良い状況に繋がっていると考える。今後も積極的な情報発信に努め開かれた学校を目指していきたい。

(4) 生徒指導

挨拶、服装、身だしなみに関する項目は3者とも高い評価であった。日頃からの指導が浸透していると考えられる。繰り返し指導を受ける生徒もいるが、全体としては良い状況である。この状況を維持することで、落ち着きのある学校生活に繋げることができる。現状に満足せず、地道な指導を続けていきたい。

(5) 進路指導

生徒の評価と比較して、保護者の評価は低い傾向にある。進路情報をしっかりと保護者にも伝えていくことが大切であると考えられる。3年間を見通した進路指導の在り方の構築を進めたい。

(6) 学習指導

宿題や課題の提出に関する項目は、生徒と職員の評価の開きが大きい。指示するだけでは提出ができない生徒がいて、職員が対応に追われる場面がある。生徒の意識の低さもあるが、支援を要する生徒がいる現実もある。

家庭学習に関する項目は3者とも低い評価である。家庭学習の習慣が身に付いていないこともあるが、生徒の実態からすると自分では勉強できない生徒もいる。

地道に取り組むしか方法はない状況ではあるが、工夫をしたり、特別支援の視点からの対応を考えたりすることが求められる。

(7) 育友会の書類

生徒は、書類提出に対して高い評価であったが、保護者・職員の評価はそれより低い。生徒が催促をされながら提出できている状況があると考えられる。持ち帰って保護者に見せ、返事を学校へ提出することを体験させることで、責任感や些細なことでもきちんとやり遂げる態度を学ばせたい。

(8) 資格検定試験対策、専門的な知識技能の指導、安全教育

高い評価を受けている項目である。専門高校としてしっかりと指導すべき項目である。これまでの指導のノウハウを踏まえて、実態に合わせた指導を行うことが必要である。安全に関する項目は生徒、職員ともに高い評価であり、良い傾向であると考えている。

(9) 校務改善

一昨年度から職員に対して加えた項目で、昨年度よりさらに低い結果となった。学校改革支援事業が一昨年度で終わり、改革が進んでいない状況があることも否めない。研究指定を受けていたときの取組を踏まえ、改革を進める必要がある。

番号	質問項目	対象	生徒			保護者			職員			増減		
			年度	av24-28	H29	差	av24-28	H29	差	av24-28	H29	差	生徒	保護者
1	学校新聞やホームページ、一斉メールをとおり、生徒、保護者に対して適切な広報ができています。	生保職	3.10	3.24	0.14	3.37	3.41	0.04	3.61	3.70	0.09	↗	→	→
2	学校行事である商工フェスタやスポーツ祭は楽しく充実している。	生	3.27	3.31	0.04	/	/	/	/	/	/	→	/	/
3	生徒徴収金に対する会計の明瞭化は適切にできています	保	/	/	/	3.39	3.43	0.04	/	/	/	/	→	/
4	本校の校内研修は、資質向上に役立っている。	職	/	/	/	/	/	/	3.50	3.21	-0.29	/	/	↓
5	わかる授業、興味・関心を持てるような授業が行われている。	生職	3.12	2.98	-0.14	/	/	/	3.15	3.06	-0.09	↓	/	↘
6	本校は基礎学力向上のため、十分な学習指導ができています。	生保職	3.10	3.11	0.00	3.12	3.16	0.04	3.13	3.14	0.00	→	→	→
7	公開授業や研究授業により教科指導の工夫改善を行い、分かる授業を行うことができています。	保職	/	/	0.00	3.16	3.16	0.00	3.25	3.21	-0.04	/	→	→
8	与えられた宿題や課題は、きちんと学習し提出できています。	生保職	3.19	3.42	0.23	3.09	3.15	0.06	2.97	3.04	0.07	↑	→	→
9	考査前の学習指導は適切にできています。	生保職	3.23	3.23	0.01	3.11	3.13	0.02	3.23	3.14	-0.09	→	→	↘
10	家庭学習の指導は適切にできています。	生保職	2.91	2.88	-0.02	2.81	2.83	0.03	2.46	2.62	0.16	→	→	↗
11	学年ごとに生徒の進路に応じた指導（キャリア教育）ができています。	生保職	3.13	3.15	0.03	3.14	3.15	0.01	3.15	3.08	-0.07	→	→	↘
12	進路ニュース等の情報提供は、適切にできています。	生保職	3.14	3.25	0.11	3.05	3.20	0.14	3.05	3.31	0.26	↗	↗	↑
13	自らの進路を考える環境があり、望ましい職業観や勤労観を学ぶことができています。	生保職	3.13	3.27	0.14	3.09	3.18	0.08	3.11	3.19	0.08	↗	→	→
14	社会の一員としての意識（公平、公正、勤労、奉仕、公共心等）をはぐくむ指導は十分にできています。	生保職	3.14	3.24	0.10	3.15	3.12	-0.03	3.17	3.23	0.06	↗	→	→
15	就職指導(学習)・進学対策への取組は適切にできています。	生保職	3.23	3.28	0.05	3.18	3.28	0.10	3.22	3.20	-0.02	→	↗	→

番号	質問項目	対象	生徒			保護者			職員			増減		
			年度	av24-28	H29	差	av24-28	H29	差	av24-28	H29	差	生徒	保護者
16	基本的な生活習慣や規範意識を高く導く指導は十分できている。	生保職	3.19	3.26	0.07	3.19	3.24	0.05	3.33	3.43	0.11	→	→	↗
17	挨拶や服装など身だしなみの指導は適切にできている。	生保職	3.40	3.49	0.09	3.42	3.54	0.11	3.49	3.62	0.13	→	↗	↗
18	地域や校内で美化活動に積極的に取り組み、校内はきれいに整備できている。	生保職	3.11	3.23	0.12	3.39	3.48	0.09	3.28	3.32	0.04	↗	→	→
19	命の大切さや人間関係づくりを高く導く指導は十分できている。	生保職	3.23	3.33	0.10	3.23	3.26	0.03	3.19	3.27	0.08	↗	→	→
20	いじめなどへの対応は適切にできている。	生保職	3.19	3.32	0.14	3.13	3.18	0.05	3.35	3.31	-0.04	↗	→	→
21	日頃から、周囲の人に対して、人権尊重を意識した言動に心がけている。	職	/	/	/	/	/	/	3.38	3.46	0.08	/	/	→
22	本校の人権教育は適切であり、人権について考える内容である。	生保職	3.23	3.34	0.11	3.17	3.15	-0.02	3.42	3.29	-0.13	↗	→	↓
23	関わる生徒に対し本校で充実した生活を送れるよう指導を尽くしている。	職	/	/	/	/	/	/	3.31	3.39	0.08	/	/	→
24	中退者・不登校の減少のための手立てを組織的に取組むことができている。	保職	/	/	/	2.95	3.08	0.13	3.05	3.12	0.07	/	↗	→
25	本校で充実した生活を送っている。	生保	3.12	3.19	0.07	3.31	3.31	0.00	/	/	/	→	→	/
26	学校版ISOの取組(節電、節水、整理整頓)は十分できている。	生職	3.05	3.11	0.07	/	/	/	3.16	2.94	-0.22	→	/	↓
27	ボランティア活動の情報提供や取組は十分にできている。	生保職	3.08	3.15	0.07	3.14	3.18	0.05	3.19	3.23	0.04	→	→	→
28	育友会関係文書は確実に保護者に渡し、担任に提出することができている。	生保職	3.28	3.33	0.05	3.23	3.23	0.00	3.10	3.06	-0.04	→	→	→
29	広報紙「風青」及びPTA新聞「雲生るる」は生徒の活動を理解する内容になっている。	生保職	3.14	3.12	-0.02	3.18	3.25	0.07	3.33	3.25	-0.08	→	→	↘
30	図書館は利用しやすい環境になっている。	生保職	3.14	3.33	0.19	3.06	3.16	0.11	3.37	3.37	0.00	↗	↗	→

番号	質問項目	対象	生徒			保護者			職員			増減		
			年度	av24-28	H29	差	av24-28	H29	差	av24-28	H29	差	生徒	保護者
31	図書館だよりで紹介された本は読書の参考となる内容になっている。	生 職	3.02	3.15	0.12	/	/	/	3.22	3.29	0.07	↗	/	→
32	芸術鑑賞は心豊かになる内容となっている。	生 職	3.30	3.45	0.14	/	/	/	3.44	3.44	0.00	↗	/	→
33	自らの健康（心身の健康や体力の向上）管理ができる指導ができています。	生保職	3.23	3.28	0.05	3.14	3.16	0.02	2.99	3.02	0.03	→	→	→
34	安全面・健康面に十分配慮した指導ができています。	生保職	3.32	3.32	0.00	3.24	3.24	0.00	3.35	3.25	-0.10	→	→	↓
35	交通安全教育（自転車や原付、委員会活動）の指導は適切に行われている。	生保職	3.38	3.39	0.01	3.30	3.31	0.00	3.49	3.25	-0.24	→	→	↓
36	施設の安全管理は適切にできています。	生保職	3.39	3.45	0.06	3.27	3.32	0.05	3.30	3.27	-0.04	→	→	→
37	丁寧で的確な電話の対応ができています。	保職	/	/	/	3.35	3.40	0.05	3.38	3.35	-0.03	/	→	→
38	部活動をしたいと思っている。指導は適切に行われている。	生保職	2.91	3.07	0.16	3.11	3.27	0.16	3.11	3.00	-0.11	↗	↗	↓
39	本校に入学して・させて良かったと思っている。	生保	2.98	3.02	0.04	3.34	3.43	0.09	/	/	/	→	→	/
40	チャレンジタイムの活用で学習や読書への意識を高めることができている。	生	3.12	3.12	0.00	/	/	/	/	/	/	→	/	/
41	資格取得に対する指導は充分できています。	生保職	3.35	3.38	0.03	3.26	3.33	0.07	3.34	3.35	0.01	→	→	→
42	専門的な知識・能力の育成に向けた指導が適切にできています。	生保職	3.30	3.37	0.07	3.26	3.31	0.05	3.33	3.23	-0.10	→	→	↘
43	実習時の安全作業の指導は適切にできています。	生職	3.49	3.48	-0.01	/	/	/	3.57	3.47	-0.10	→	/	↓
44	実習室はきちんと整理整頓され、安全で学習にふさわしい環境が整っている。	生職	3.58	3.48	-0.09	/	/	/	3.50	3.40	-0.10	↘	/	↓
45	校務改善で生徒と向き合う時間が以前より増加した。	職	/	/	/	/	/	/	2.96	2.82	-0.14	/	/	↓
平均値			3.20	3.26	0.06	3.19	3.24	0.05	3.25	3.23	-0.02			
標準偏差			0.15	0.15		0.13	0.13		0.21	0.20				